



パチパチとすすまじい音とともに立ち上る炎

無病息災願
どんど
焼き

館報
 平柴台

発行
 平柴台公民館
 発行人
 松本幸平
 印刷所
 (株)丸山印刷



残り火でモチを焼く親子



正月飾りのはり金などを取り除く役員ら

小正月行事「どんど焼き」は1月12日午後、大勢の住民が参加して団地グラウンドで開かれ、飾り終えたダルマや

しめ縄、書き初め作品などが焼き、1年の無病息災を祈りました。
 公民館長や自治会長らによる

育成会の活動で楽しかったのは夏祭りとかリスマス会です。夏祭りではたくさん花火ができたのでうれしかったです。
 クリスマス会はラウンドワンスポッチャで、たくさんゲームやスポーツを楽しめました。

良しです。

友達少ないが
 みんな仲良し

山王小5年
 山上 結愛

その中でもバドミントンをしたのが楽しかったです。山王小の他の地区は友達が10人以上いるところもあります。平柴台は友達が少ないけど、みんな仲

る神事の後、点火されると、パチパチとすすまじい音を立てながら一気に燃え上がりました。火が収まった後、親子連れなどが、はり金などで吊るしたモチを残り火の上に乗せて焼き、ほお張っていました。



研修旅行 身近な善光寺を学ぶ



多数の住民が参加して熱気に包まれた研修旅行

公民館が主催する研修旅行は2024年11月9日、なじみの深い善光寺をじっくり学びようと、約40人の住民が参加して行われました。

行楽シーズンとぶつかり、大広間でスライド写真を見ながら、住職の善光寺縁起の

観光バスなどは予約でいっぱい、住民有志のワンボックスカーなどに分乗して宿坊「淵之坊」に集合しました。

その後、善行寺本堂を参拝しましたが、行楽客であふれ、歩くのに苦労しました。

参拝を終えて、再び車にのり乗して、平柴台公民館に帰着。午後3時に解散となりました。

消火器の正しい使い方など 防火防災訓練

防火防災訓練が11月17日、秋の一斉清掃の後、団地公園で開かれ、市中央消防署安茂里分署の署員から消火器の正しい使い方や消防署への119番通報の仕方などを学びました。

訓練では安茂里分署の消防署員が指導にあたり、自治会役員や公民館役員約30人が参加した。



落ち着いて落ち着いて！ 消火器噴射

加し、実践しながらの訓練をしました。

119番通報をする際は消防車にもわかるように、どここの北とか南とか、火災発生場所の位置を、落ち着いて正しく伝えてほしい、とのこと。

消火器を使う際は、火元から3メートル離れた場所から、後退しながら噴射することや室内に煙が充満してしまつたら避難することなどを学んだ後に、参加者が2人ずつ目標物に消火液を噴射する訓練をしました。

防災指導員の退任にあたり

5組 藤森 幹人

2017(平成29年)4月、市長より防災指導員の委嘱を受け、今日まで8年の月日が過ぎ今回退任の運びとなりました。まずは、在任中平柴台の住民の皆さま、自治会長、各組織の役員の皆さまのひとかたならぬご尽力に対して、心からの御礼を申し上げます。

昨今、日本の異常気象、地震の多発等により、防災の重要性は、はっきり認識できたのではないかと思います。

今回、防災指導員の任が解かれるわけですが、災害から解放されたわけではありません。守りたい未来があるから、防災に関わり続けることで、地域の共助に貢献できると信じています。最後に、今後の平柴台の栄を祈念して退任の挨拶とさせていただきます。

在任中の初めのころは、どのような啓発活動を行えばよいか、五里霧中の状態でありました。防災の重要性を身近に痛感したのは、2019

(令和元年)台風19号による東日本台風災害でした。このことがきっかけで、自分のできることは、まず防災の情報を収集し、微力ながら平柴台の皆さまと共有する活動をしようという思いで続けて参りました。

高齢化の中、自治会の在り方

意見交換会

【はじめに】平柴台地区は、住民321人のうち65歳以上が170人と過半を占め、他の地域と同様に高齢化が進んでいます。このような中、令和3年度には自治会の運営や区長の選出、組の再編等にか

かるアンケート調査を行いました。【意見交換の進め方】前回の検討継続の意見をいただいたため、その後の取り組みとして自治会役員と自治会長経験者ら関係者による意見交換を2024年10月12日に行いました。

アンケート調査から時間が経過していること、また、検討の論点を明確にするため、自治会役員に加え自治会長経験者の方々のご参加を頂き、10月12日に意見交換会を開催いたしました。

役員年齢制限 若い人の参加促進

検討継続

- ① 自治会等役員に年齢制限を設けることなどについては、自治会長等の職を免除する年齢制限(80〜85歳位)を考慮しては、いかがかという意見、一定となる(見習期間あり)方が
- ② 自治会長は別枠で全体から選出し複数年務めることに ついては、重要な事項として 継続検討した方がよい、他地区のように副会長を経て会長となる(見習期間あり)方が

よいのではないかと、地区の役員選考会議の設置を考えた場合、委員を引き受けていた方がいるかなどの意見がありました。

【今後の進め方と期待すること】 これらはどの地区でも生じている問題であり、役員選考に携わる人によっては大きな負担となる恐れがあり、検討は慎重かつ丁寧に継続する必要がありますと考えます。本年度は、更に若年層の方々の意見を頂くよう準備を進めていきます。

自治会総務部長 松尾 一穂

大人への門出祝う

新成人は平柴台5人 安茂里地区の祝賀会



華やかな中にも緊張感が漂った成人式

令和6年度安茂里地区成人祝賀会は1月4日、安茂里公民館で開き、新成人177人が出席して盛大に行われました。平柴台からは、5人(女性3人、男性2人)が大 人への門出を祝いました。「始めよう今、見つめよう未来」をテーマに、約250人が出席。振り袖姿のあてやかな新成人たちを中心に花が咲いたような雰囲気の中にも、大人の仲間入りに緊張した雰囲気のみなぎっていました。

腹話術などで 交通安全教室

集会所で9月28日、交通安全教室が開かれ、約30人が参加しました。

長野市から2名の講師に来ていただき、人形をつかい腹話術で交通安全の大切さを具体的にお話していただき、笑いがあったりで和やかな時間でした。

寸劇で詐欺の手口などを分かりやすく解説していただきました。高齢者を狙う特殊詐欺や強盗が横行し、高額なお金だまし取られるケースが続出しています。不審な電話や訪問者があっても、一人で判断せず家族などに相談しましょう。

不審な電話などがあたら、「#9110」の警察相談専用番号に一報しましょう。

協力ありがとうございます

ただただ感謝

自治会長 笹川 信義

1月12日、どんど焼きは天高く燃え上がりました。今年度最後の行事、無病息災を願う皆様の声が届いたと思います。

自治会長を引き受けて早いもので、残りあとわずかの所まで来ました。

3月下旬、晴嵐荘前のカーブミラーが腐食で倒れ、この更新が初めての仕事になりました。

出会い大切に

公民館長 松本 幸平

公民館長という大役をお引き受けし、早いものでその任期も残りわずかとなりました。この1年間、公民館役員の皆さん知恵とチームワークで、公民館活動を進めてまいりました。

自治会・育成会・諸団体の役員及び平柴台住民の皆様を支えられ、ご協力とご指導をいただき公民館としての年間諸行事を無事終えることが出来ました。改めて皆様方にお礼申し上げます。

公民館活動を通じて多くの

した。自治会役員は初めてで、とまどいましたが、前会長大日方様にも助けられ、市への要請もでき、設置することができました。

この1年を振り返ってみますと、土木工事の立ち合いなどいろいろありましたが、総会で課せられました、「自治会役員の在り方について」は役員会及び自治会長経験者の皆様による意見交換会等を経て整理ができてつあります。また、「文書管理規程」に

方との出会い、お付き合いさせてもらい、私にとって大変得るものが多かった1年間でもありました。

さて、以前より歴代役員が心配されていた高齢化・少子化がますます進み、行事運営が厳しくなっています。まず役員の高齢化です。こうした現実を見据えて公民館を含め自治会活動の進め方に知恵を出し合っていかなければならないと思います。平柴台では1年で役員が全員交代します。年ごとに持ち味が異なる特色を出し合って役員の負担を軽減し、地区の皆様

つきましても、原案がまとまり総会で承認いただくこととしております。

これひとえに、皆様方のご協力があったこそと、感謝します。

平柴台も急速な少子高齢化を迎えようとしています。変化する住環境をいかに住みやすくするか、住んでいる私たちの努力にかかっていると思

空白取り戻す

杏寿会会長 横山 悟

長くコロナ禍が続き、やると治まる気配を見せ始めた令

年齢構成に合わせたり、地区外との合同催事(子ども会)を検討するなど新たな対応が必要となっていると思います。

一方、安茂里地区住民自治協議会での教育文化部会の一員として部会会議、各種行事に出席し貴重な体験をさせていただきました。

最後に、これまでご支援、ご協力いただいた区民の皆様、自治会、育成会、諸団体の皆様に心から感謝申し上げます。ご尽力いただいた公民館役員の方々本当にありがとうございました。

います。

どうか皆様、自治会の活動に何らかの形で自分のできる範囲で参加して、少しでも住みやすい平柴台にしようではありませんか。

最後に、この1年間、多くの皆様に支えられ活動できたことに感謝いたします。ありがとうございました。

和6年度も終わろうとしています。ここ数年、計画した行動や行事がぼつぼつ「復活」の気配を見せるかもしれせん。

貴重な機会実感

育成会長 山上真由美

「一つ一つの活動を大切に、内容濃く楽しく。」常にその事を念頭に置き、令和6年度育成会の活動をスタートしました。

コロナ禍の影響で、満足な活動ができなかった頃に比べ、少しずつ行事も復活していき、今年度は、予定していた行事を全て実施することができました。

その中でも夏祭りは、公民館役員の方々にご尽力いただき、とても熱気あふれる楽し

皆が集まり、議論したり、食事会を開催。さらには、遠足や旅行に出かけるなど、「非日常」のスケジュールもじきに復活するかもしれません。

これまでの「空白」を取り戻さねばという向きもあるでしょう。それもいいことです。老人クラブとしても、これまでの「空白」を取り戻すため、出来るだけ企画を進めたいと思

思っています。私を初め、役員の人たちにご相談ください。ともかく、身体を動かし、皆さんとの行動、交流を大事にしたいと思っています。

いお祭りとなりました。子どもたちのために、本当にありがとうございました。

夏祭りは、地域住民の交流の場となり、世代を超えてコミュニケーションをとる事ができる、貴重な機会であると改めて実感しました。

毎年地域の子どもは減少しておりますが、これからも育成会として、地域と子どもを繋ぐ活動を行ってまいります。

地域の皆様、今後ともご協力よろしくお願いたします。1年間ありがとうございました。